

※水色と黄色のセルは回答必須。薄緑色セルは任意。申請書の段階から項目3に変更があった場合、直接入力の上書きして下さい。

送信先: [report@r-ict-advisor.jp](mailto:report@r-ict-advisor.jp)

派遣決定番号 185K

報告日 令和5年10月5日

報告回次 3日目

## 令和5年度 地域情報化アドバイザー制度活用報告書

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

### 1. 申請団体情報

#### 1-1. 申請団体

団体名	芽室町		代表者名	手島 旭	
担当者部署	政策推進課		連絡先電話番号	0155-62-9721	
担当者役職	主査	担当者氏名	玉堀 雄一	連絡先E-mail	*****
住所	082-8651 北海道芽室町東2条2丁目14				

#### 1-2. 推薦団体（「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力）

### 2. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	山形 巧哉
評価	大変よい
上記評価の理由（どのようなところがよかったか等詳細に）	今回は、地方公共団体の経営・財務強化マネジメント事業を活用してDX推進に関するアドバイスをいただいていた山形さんご本人からの提案もあり、地域情報化アドバイザー制度を活用しての職員に対する機運醸成の研修を開催できた。同事業を通じて、事前に芽室町の状況（DXの進捗、職員の機運の度合いなど）を踏まえた上で、対象職員に響く内容をご検討いただいたため、研修内容も大変満足いくものであった。気さくな人柄と、幅広い知見、自治体のこともよくわかっており、事前相談での緻密なご対応もあり、安心して様々なことを相談できた。また、ご本人の専門外の分野も、取り組まれている方のご紹介をいただくなど、具体的なDX推進のフェーズでも的確なご対応をいただけており、非常にありがたい。
アドバイザーへの要望事項	あまり忙しくなられても困るといふくらい的確にご対応いただけており、これ以上の特段の要望はない。

### 3. 地域情報化アドバイザー派遣実績

3-1. 対応日・時間	派遣日予定日（申請書より）	支援内容（申請書より）	期日・支援内容の変更あり	WEBでの手続き日	受付番号
	令和5年10月13日	フォローアップ(実地)	有	令和5年8月9日	836
	実施した派遣日	実施した支援内容	開始時刻	終了時刻	内休憩時間（分）
	令和5年9月29日	フォローアップ(実地)	9時00分	10時00分	
				活動時間（分）	60
3-2. 派遣場所	会場名	芽室町役場	最寄駅	芽室駅	
	所在地	北海道河西郡芽室町東2条2丁目14	最寄駅からの交通手段	徒歩	

### 4. 報告書に関する地域情報化アドバイザーホームページ「派遣事例」への掲載許可

掲載許可  掲載可

<https://www.r-ict-advisor.jp/cases-case-good-practices/past-year-all-houkoku/>

### 5. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

5-1. 支援を受けた対象者	属性（職員、一般、企業等）について【自由記述】	人数
	職員（DX担当職員）	2人
5-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果		
事業の課題・問題点（具体的にご記入下さい）	今年度から本格的に自治体DXの推進に取り組むこととなったが、全庁的に取り組み状況にムラがある状況であった。1日目、2日目の講演の成果を今後具体的にどう生かすかには課題がある状態であった。	
支援により目指す成果（具体的にご記入下さい）	今回の地域情報化アドバイザー制度で講演いただいた内容を今後の芽室町のDX推進にどのように生かすかの方向性を明確にする。	
アドバイザーに支援を受けた内容（具体的にご記入下さい）	山形氏から講演を実施した感触のフィードバックをいただいた。管理職、一般職ともに高い意識は持っており、それを具体的な行動になるべく早く移していくことが重要である。町の次年度の実行計画に計上しているものや、次期のデジ田活用を見据えている案件を実現していくため、今回の技術や考え方を生かすこと。必要に応じて、引き続き相談を受けていく旨をおっしゃっていただいた。（経営・財務マネジメント強化事業を活用）	

支援を受け改善又は解決された内容 (具体的にご記入下さい)	改善・解決された部分を1週間の段階で図ることはできないが、参加した職員から反応があったものについては、なるべく早く着手していきたい。	
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	⑥途中段階であり、具体的な成果物はできていない
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 (具体的にご記入ください)	内部コミュニケーションの向上等につながるグループウェアの刷新に取り組むプロジェクトチームが立ち上がっているが、そうしたプロジェクトにおいても、今回習得した技術を生かしていくことができると見込まれる。 DX担当としても、課題を抱える部署の間に入り込んで一緒に検証していくための技術が身についたことから、これを生かしていきたい。	
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。) アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。	
5-3. 今後の計画	最も当てはまるもののリストより選択下さい	①予算は確保済みであり、年度内に推進する
事業の最終的な目指す姿	①、②両方の状況であり、あらゆる部署でBPRに着手し、必要に応じてデジタルを活用していく。最終的な目指す姿は、そうした業務改善・業務改革に取り組むということが当たり前な組織にしているということにあり、より具体的にそのような体制づくりに着手していきたい。	

なお<その他>を選択した場合、具体的な記入が必要となりますのでご注意ください

#### 6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真(JPEG)」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。

